

V 採点・評価基準

1 小論文

次の学部・学科等で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

学部	学 科 等		評価事項	
法文学部	法経社会 学科	法学コース	課題文を読ませ、その内容の理解と説明の論理性や表現力などをみます。	
		地域社会コース・ 経済コース	社会的な問題に対する関心や適切な論理の展開能力、基礎的な表現力を問います。	
	人文学科	多元地域文化コース	課題文を読ませ、その内容の理解と説明の論理性や表現力などをみます。	
		心理学コース		
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	これまでに学んだ技術に関する内容を基礎に、技術に対する見方・考え方を問います。
			家政	高等学校までに習った家庭科あるいはこれに準ずる科目を基礎に、生活についてのものの見方・考え方を問います。
医 学 部	保健学科	看護学専攻		人間の生命と社会的な課題や文化等に関する課題文を読み、読解力、思考力、表現力、知識などを問います。
		理学療法学専攻		
		作業療法学専攻		
工 学 部	先進 工学科	機械工学プログラム		修学上必要な数学・物理*の基礎学力を問うとともに、高等学校までに習った数学や理科などを基礎に論理的思考力や科学的発想の豊かさを問い、機械工学への意欲と適性を評価します。 ※数学の範囲は数学Ⅰ及び数学Ⅱ、物理の範囲は物理基礎とします。
		海洋土木工学プログラム		土木工学、海洋学を学ぶうえで必要な基礎知識、基礎学力、学習意欲を評価します。
農 学 部	農学科		専門を学ぶうえで必要な知識を基礎として、課題に対して論理的に考察し表現できるかを問います。	
水産学部	水産学科		水産学を学ぶうえで必要な基礎的事項に関する理解力、あるいはトピックス的なものに関する理解力並びに考察力を問います。	
共同獣医学部	畜産学科		専門を学ぶうえで必要な知識を基礎として、課題に対して論理的に考察し表現できるかを問います。	

2 実技検査

次の学部・学科等で実技検査を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

学部	学 科 等			評価事項
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	木材加工、金属加工、栽培、電気、情報を検査種目とし、これらの基本的な作業等を課すことで、ものづくりに関わる技能等を評価します。志願者は5つの検査種目から1つを選択します。
			音楽	ピアノ、声楽、ソルフェージュ、その他の楽器（希望者のみ）を課し、音楽の基礎的能力と表現力・技術力をみます。
			美術	鉛筆による静物デッサンを課し、美術の表現に関わる基礎的資質と能力をみます。

3 面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学 部	学 科 等		面 接 の 形 態			面接時間	評 価 事 項	
			個人面接	集団面接	面接員数			
法文学部	法経社会学科	法学コース	○	人	人 2～3	分 15	学習意欲、法と社会の関わりに関する関心、基礎的な表現力をみます。	
		地域社会コース・経済コース	○		2～3	10～15	社会の諸事象に対する関心と学習意欲をみます。	
	人文学科	多元地域文化コース	○		2～4	10	地域及び世界の諸文化に対する関心の高さ、学習意欲、基礎的な表現力などをみます。	
		心理学コース	○		3	10	調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書を参考にして、心と行動に関する関心度、学習意欲、論理性及び志望理由などを評価します。	
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育コース	技術	○		2～4	30	教職への意欲、適性等を評価します。この際、出願書類として提出した <u>高等学校長承認印のある</u> 製作物のポートフォリオも参考にします。
			家政	○		2～5	20	将来、中学校・高等学校の家庭科教育に携わる者としての意欲、適性等を評価します。
			音楽	○		2～5	15	教員志望への熱意、音楽の教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
			美術*	○		2～4	15	持参した <u>高等学校長承認印のある</u> ポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの、A4サイズ20ポケット以内のクリアファイルを使用すること）をもとに、美術の基礎的内容の理解、美術への興味・関心、勉学意欲の程度、教員志望への熱意などをみます。
医学部	保健学科	看護学専攻	○		3	10	看護学を学び、更に資格取得後、専門職として、保健・医療・福祉の推進に貢献していこうとする適性、能力及び意欲をみます。	
		理学療法学専攻		3	3	30	理学療法学又は作業療法学を学び、更に資格取得後それぞれの専門職として、保健・医療・福祉の推進に貢献していこうとする適性、能力及び意欲をみます。	
		作業療法学専攻		3	3	30		
工学部	先進工学科	機械工学プログラム	○		5	10	学習意欲、目的意識と適性について評価します。	
		電気電子工学プログラム	○		6	20	基礎学力、電気電子工学の一般常識、学習意欲、目的意識について評価します。	
		海洋土木工学プログラム	○		3～5	10～15	学習意欲、目的意識と適性を評価します。	
農学部	農学科（専門教育を主とする学科等）		○		3～5	15	志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識（高等学校等で学習した内容）などを評価します。	
水産学部	水産学科		○		3～6	10～20	水産学を学ぶ意欲等について評価します。	
共同獣医学部	畜産学科（専門教育を主とする学科等）		○		3～4	15	志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識などを評価します。	

（注）受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

（注）集団面接欄の数字は受験者数です。

※ 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術の面接を受験する者は、高等学校長承認印のあるポートフォリオを検査当日に必ず持参してください。

4 調査書

学部	学 科 等			評価事項
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	専門教科等の学習成績の状況、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、生徒会活動、学校外の活動、評価の高い資格、検定等の取得及び表彰・顕彰された諸活動について評価します。
			音楽	調査書の各項目における学校外の活動について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価することに加え、音楽実技活動の実績調書の評価が含まれます。
			美術	各項目について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム	各教科・科目等の学習成績の状況、高等学校での部活動、ボランティア活動等の諸活動の状況、出欠状況などの記載事項全般について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。	
		電気電子工学プログラム		
		海洋土木工学プログラム		
水産学部	水産学科			各項目について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。

5 プレゼンテーション

次の学部・学科等でプレゼンテーションを課します。

学部	学 科 等		評価事項
農 学 部	農学科	普通科等	推薦要件を踏まえ、これまでに取り組んできた研究成果について、5分間のプレゼンテーション及び10分間の質疑応答により、論理的思考力、表現力、対話力、学習意欲等を評価します。なお、評価者（検査員）は3～5人とします。 プレゼンテーションについては、PC（ノートパソコン、タブレット端末等）による発表又はポスター発表のいずれかを選択できます。 PCによる発表の場合、各自が持参したPCをプロジェクターに接続して発表することとします。プロジェクターWindows OS に対応しており、画面比は16：9を推奨します。接続端子はHDMI のみ可（VGA等は不可）としますので、変換機器等が必要な場合は、各自で準備してください。なお、HDMI ケーブル及びプロジェクターは本学で準備します。インターネットへの接続はできません。 ポスター発表の場合、各自が持参したポスター（高さ110cm、幅180cm 以内）をボードに掲示して発表することとします。なお、掲示用のマグネットは本学で準備します。
		普通科等	推薦要件を踏まえ、これまでに取り組んできた研究成果について、PDF ファイルを用いた5分間のプレゼンテーション及び10分間の質疑応答により、論理的思考力、表現力、対話力、学習意欲等を評価します。なお、評価者（検査員）は3～5人とします。 プレゼンテーションについては、PDF ファイルを用いたPC（ノートパソコン、タブレット端末等）による発表とします。 PCによる発表は、各自が持参したPCをプロジェクターに接続して発表することとします。プロジェクターはWindows OS に対応しており、画面比は16：9を推奨します。接続端子はHDMIのみ可（VGA等は不可）としますので、変換機器等が必要な場合は、各自で準備してください。なお、HDMI ケーブル及びプロジェクターは本学で準備します。インターネットへの接続はできません。

VI 合否判定基準

- 各学部・学科等で実施する個別テスト等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。
なお、本学が課す個別テスト等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術においては、小論文、実技検査及び面接の各得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース家政においては、総合得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース音楽においては、実技検査、面接及び調査書の各得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術においては、実技検査及び面接の各得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 工学部先進工学科機械工学プログラム及び海洋土木工学プログラムにおいては、小論文、面接及び調査書の各得点が工学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 工学部先進工学科電気電子工学プログラムにおいては、面接の得点が工学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 農学部農学科においては、総合得点が農学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 水産学部水産学科において、小論文及び面接の各得点が水産学部の定める基準に満たない場合、総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。
- 共同獣医学部畜産学科においては、総合得点が共同獣医学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学 部	学 科 等		同 点 者 の 優 先 順 位				
法文学部	法経社会 学科	法学コース		1. 小論文			
		地域社会コース・経済コース					
	人文学科	多元地域文化コース		1. 面接			
		心理学コース					
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等 教育 コース	技術	1. 面接	2. 実技検査	3. 小論文	
			家政	1. 小論文			
			音楽	1. 実技検査	2. 調査書		
			美術	1. 実技検査	2. 面接		
医 学 部	保健学科	看護学専攻		1. 小論文			
		理学療法学専攻					
		作業療法学専攻					
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム		1. 小論文	2. 面接		
		電気電子工学プログラム		1. 面接			
		海洋土木工学プログラム		1. 小論文	2. 面接		
農 学 部	農学科	専門教育を主とする学科等		1. 小論文			
		普通科等		1. プレゼンテーション			
水産学部	水産学科		1. 面接 2. 小論文				
共同獣医 学 部	畜産学科	専門教育を主とする学科等		1. 小論文			
		普通科等		1. 小論文			